

ポスター発表

発表番号	タイトル	発表者
P01	タカ科のツミは、初列風切をハヤブサ科のように換羽する。	○伊関文隆(希少生物研究会), 佐藤達夫(行徳野鳥観察舎), 三上かつら(バードリサーチ)
P02	Genetic Differentiation of Black-billed Magpies (<i>Pica pica</i>) in China and Korea	○Wooh Jung Kim, Sang-im Lee(生命科学部・ソウル大学), Fu-min Lei(中国科学院动物进化与系统学重点实验室), Jae Chun Choe(エコ科学部・梨花女子大学)
P03	岡山県内の営巣地で採集された鳥類骨格よりみたオオタカの食性—同定基準を中心として—	○立石和也(岡山理科大学)
P04	ナスカの地上絵に描かれた鳥類の同定の試み	○江田真毅(鳥大・医), 山崎剛史(山階鳥類研究所), 坂井正人(山形大・人文)
P05	ニワトリの頭骨に関する比較形態学的検討	○工藤光平, 細島美里(東京大学・院農), 小川博(東京農業大学野生動物学研究室), 遠藤秀紀(東京大学総合博物館)
P06	メイキングオブ「鳥の形態学ノート」	○川口敏(無所属)
P07	緑の構造色を持つ鳥類の羽の形態	○Eunok Lee, Hang Lee(ソウル大学・韓国野生動物遺伝資源銀行), Shuichi Kinoshita(阪大・生命機能)
P08	小羽枝に含まれるメラノゾームの反射電子SEMによる観察	○小木曾チエ, 野崎ますみ*, 蛭薙観順*(*名古屋大学博物館)
P09	不動如鷺山(うごかざること、さぎやまのごとし)	○益子美由希(筑波大院・生命共存), 徳永幸彦(筑波大・生物科学)
P10	宿主によるカッコウのヒナ排除が進化する条件	○佐藤望(立教大学), 三上修(岩手医科大学), 上田恵介(立教大学)
P11	自己組織化マップ(Self-Organizing Map)を用いたコアジサシにおける卵殻色の多様性の定量的評価法	○白井妙生(日大・生物資源), 北村亘(電中研・生物環境), 奴賀俊光(NPO法人リトルターン・プロジェクト), 堀部直人(ディスカヴァー・トゥエンティワン), 増田直也(NPO法人リトルターン・プロジェクト), 村田浩一(日大・生物資源)
P12	ガンカモ類による負荷量がネグラ水域に及ぼす影響を予測する	○中村雅子((独)国立環境研究所/島根大・汽水域研セ), 矢部徹((独)国立環境研究所), 神谷要((財)中海水鳥国際交流基金財団), 相崎守弘(島根大学)
P13	滋賀県におけるカワウの個体群動態モデルの提案	○鈴木基弘, 松田裕之(横浜国立大学・環境情報)
P14	Spring migration of Orange-flanked Bush Robins (<i>Tarsiger cyanurus</i>) on a stopover island in Korea	○Hyun-Young Nam, Chang-Yong Choi(Korea National Park Research Institute Migratory Birds Center)
P15	積雪が繁殖期の森林性鳥類群集に与える影響	○岩本二郎(長岡市立科学博物館)
P16	ガンカモ一斉調査結果を活用したガン類渡来状況の把握(その2)	○尾原正敬(株式会社千代田コンサルタント)
P17	The effects of food supplementation on reproductive success of the Black-billed Magpie (<i>Pica pica</i>)	○Mi Rye Bae, Sang-im Lee, Piotr Jablonski, Jae Chun Choe
P18	集団ねぐらで拾った羽根から調べたムクドリ(の換羽の時期と順序)	○奥田幸江, 奥田幸男
P19	近畿地方におけるカワウの就壻個体数の季節変化	○奥田幸男, 奥田幸江

発表番号	タイトル	発表者
P20	スズメで観察された同一巣一夫二妻の繁殖事例	○笠原里恵1, 今西貞夫2, 上田恵介1(1立教大・理, 2東京都・国分寺市)
P21	瀬戸内海西部海域におけるカムリウミスズメと海底地形の関係	○橋口大介(野生生物保全研究所), 藤井格, 藤井香織(生物群集研究所), 鈴木淳司(アジア航測株式会社)
P22	沖縄本島におけるメジロの盗蜜行動	○籠島恵介
P23	低い巣ばかりが襲われる? キビタキの巣に対する捕食の傾向	岡久雄二(立教大学・院・理), ○佐々木礼佳(立教大学・理), 大久保香苗(日本野鳥の会サンクチュアリ室), 高木憲太郎(バードリサーチ), 森本元(国立科博・動物/立教大・理/東邦大・東京湾生態セ)
P24	瀬戸内海西部海域におけるカムリウミスズメと流れ藻の関係	○藤井格, 藤井香織(生物群集研究所), 橋口大介(野生生物保全研究所), 鈴木淳司(アジア航測株式会社)
P25	都市部と農地部におけるスズメの繁殖成績の比較	○松井晋1, 笠原里恵1, 加藤貴大1, 三上修2, 森本元3, 4, 5, 山口恭弘5, 上田恵介1(1立教大・理, 2岩手医科大・共通教育, 3国立科博・動物, 4東邦大・東京湾生態セ, 5中央農研・鳥獣害)
P26	気象条件に応じたツバメの給餌戦略	○櫻なさ1, 北村亘2, 菅原鮎実1, 浅井亜耶1, 松田亜希子1, 山口典之3, 藤田剛1, 樋口広芳1(1. 東大・農, 2. 電中研・生物環境, 3. 長崎大・環境)
P27	ハシボソガラスの貝落とし行動の特性	○森田詩織(九州大・院理)
P28	外灯に あやかる鷗 関せぬ黒雁	○平田和彦(北大院・水産)
P29	本州におけるクマタカ営巣木・営巣環境のバリエーション	長野紀章, 紀國聡((株)建設技術研究所), ○中野晋(環境設計(株))
P30	Gape coloration of nestlings in the black-billed magpie (<i>Pica pica</i>)	○Kyungsun Seo, Sang-im Lee, Piotr Jablonski(生命科学部・ソウル大学), Jae Chun Choe(エコ科学部・梨花女子大学)
P31	ウトウの産卵前の餌が卵容積に及ぼす影響	○鈴木優也, 伊藤元裕(北大院・水産), 風間健太郎, 新妻靖章(名城大・農), 綿貫豊(北大院・水産)
P32	巣はドンドン高くなっていく? キビタキの営巣場所選択に対する雄の年齢・経験の影響	○岡久雄二(立教大・院理), 高木憲太郎(バードリサーチ), 森本元(国立科博・動物/立教大・理/東邦大・理・東京湾生態セ)
P33	カラス類2種の営巣環境解析: マルチスケール解析への試み	○向畦地貴史(大阪市立大・院理)
P34	新潟県粟島に繁殖するオオミズナギドリの採餌トリップとヒナの成長	○朝日健斗(北大院環境), 越智大介(遠水研), 白井正樹(名大院環境), 山本麻希(長岡技大), 綿貫豊(北大院水産)
P35	樹洞営巣性鳥類の樹洞の利用方法の違い—樹洞の乗っ取り行動に着目して—	○椎名佳の美, 東正剛(北大・環境科学)
P36	人工飼育下のカワウ亜成鳥の摂餌量および体重増加量に対する外部気温の影響	○岩本麻未(岐阜県世界淡水魚園水族館), 風間健太郎(名城大・農), 堀江俊介(岐阜県世界淡水魚園水族館), 新妻靖章(名城大・農)
P37	ミズナギドリのヒナの飼育実験が物語る、出来合いのお惣菜より母の手作り	○岡奈理子(山階鳥類研究所)

発表番号	タイトル	発表者
P38	音声を用いたフクロウの個体識別と縄張り個体の入れ替わり	○井上千歳1, 中岡香奈1, 森美由希1, 谷川智一2, 村濱史郎3, 松室裕之2, 高木昌興1(1:大阪市大・理・動物機能生態, 2:特定非営利活動法人日本バードレスキュー協会, 3:株式会社野生生物保全研究所)
P39	鳴き声からみたフクロウの地域区分	○森美由希1, 井上千歳1, 村濱史郎2, 谷川智一3, 杉山時雄4, 黒田治男5, 高木昌興1(1:大阪市大・院・理・動物機能生態学, 2:(株)野生生物保全研究所, 3:特定非営利活動法人日本バードレスキュー, 4:西三河野鳥の会, 5:兵庫県)
HP1	茨城県日立市赤羽緑地における鳥類の研究 ～植生・気候との関わり～	飯島大智(茨城県立日立第一高等学校)
HP2	奈良県稲村ヶ岳のメボソムシクイの囀りの解析	廣野武(生物部部長 2年), 高橋祐耶(副部長 2年), 家本優輝(1年)
HP3	氷ノ山におけるクロジの繁殖分布について	廣野武(生物部部長 2年), 高橋祐耶(副部長 2年)
HP4	和歌山県御坊市付近の鳥類の出現個体数の経年変化(1966～2011)	鈴木溪, 生駒啓人, 橋谷春輝(和歌山県立日高高等学校)
HP5	甲子園浜におけるシギチドリ類の採食行動と干潟利用	平松山治, 根来汐美, 川上万由子, 黒瀬美咲, 小川美紅, 只野響, 野村真那, 川崎円馨, 松本舞(武庫川女子大学附属高等学校)
P45	ハヤブサの筋肉にみられた2種の顎口虫幼虫(寄生性線虫)	○巖城隆(目黒寄生虫館), 鶴見みや古, 小林さやか, 岩見恭子(山階鳥類研究所)
P46	クマガラとその巣穴をめぐる樹洞利用生物の行動観察	○荒哲平(岩手大・院・農), 東淳樹(岩手大・農)
P47	ヒノキ人工林の間伐方法が鳥類群集に及ぼす影響—列状間伐と選木間伐の比較—	○佐藤重穂(森林総研・四国)
P48	東日本大震災による水田稲作の停止がシギ・チドリ類の個体数に与えた影響	○西川雄太(東大・生態環境調査), 佐久間保彦(東大・生物多様性), 加藤和弘(東大・生態環境調査), 天野達也, 藤田剛, 樋口広芳(東大・生物多様性)
P49	新潟県におけるカワウの個体群成長率と漁業被害から考える個体数管理について	○藤田達也, 山本麻希(長岡技大 生物)
P50	クマガラが冬期に利用した採餌木の特徴	○雲野明, 明石信廣(北海道林試)
P51	関東の都市部に出現した越冬トラフズクの餌メニュー	○平山瑛一(東京農工大・農), 岡久雄二(立教大学大・院・理)
P52	繁殖期のサシバが巣に持ち込む食物内容と資源分布の季節変化	○酒井すみれ(東大・農・生物多様性), 安田雅俊(森林総研), 百瀬浩(中央農研・鳥獣害研), 山口典之(長崎大・環境・動物生態), 樋口広芳(東大・農・生物多様性)
P53	繁殖期におけるヨタカの生息分布とマクロスケールの環境選好—石川県小松市の例—	○木本祥太, 加藤和弘(東大院・農・生態環境調査室), 樋口広芳(東大院・農・生物多様性)
P54	渡良瀬遊水地におけるオオセッカの生息状況と生息環境	○平野敏明(バードリサーチ)
P55	オオセッカの3タイプの巣と植生環境	○青木桜(弘前大院・農生), 高橋雅雄(立教大・理・動物生態), 金杉昌樹, 馬場光久, 杉浦俊弘(北里大・生物環境)

発表番号	タイトル	発表者
P56	安定同位体から見た岩木川下流ヨシ原における食物網 -草原棲小型鳥類を中心に-	○鎌田帆南, 佐藤臨, 羽根田雄斗*, 東信行(弘前大院・農生, *現むつ市役所)
P57	飼育中のナベヅルの風切羽の換羽で分かってきたこと	○増山雄士(周南市教育委員会, 北海道大学・院文・地域システム科学)
P58	防鳥ネットでレンコン食害を防げるか? ;ハス田への水鳥の渡来数を決定する要因	○小田谷嘉弥(筑波大・生物資源), 山口恭弘(中央農研・鳥獣害), 中村徹(筑波大・生命環境)
P59	北海道におけるオジロワシの営巣環境の特性と経年変化	○福原るみ(北海道大学・環境科学院), 白木彩子(東京農業大学・生物産業学部), 東正剛(北海道大学・環境科学院)
P60	千曲川河道掘削工事による鳥類への影響	○上田龍成, 中村浩志, 小林雄樹(信州大・教育), 笠原里恵(東大・農, 立教大・理)
P61	標識データに見られる全国を対象としたスズメの減少とその課題	○森本元 ^{1, 2, 3} , 三上修 ⁴ (1国立科博・動物, 2東邦大・東京湾生態セ, 3立教大・理, 4岩手医科大・生物)
P62	葛西海浜公園内の人工なぎさで繁殖したコアジサシとその保護の状況について	○中村忠昌, 大原庄史, 恩田幸昌(NPO法人生態教育センター), 渡部敏夫(公益財団法人東京都公園協会)
P63	コウノトリの採食生態 —野外における採食効率と餌生物密度の関係—	○武田広子(東邦大・理・地理生態)
P64	サシバの繁殖制限要因としての食物動物の季節的消長の影響	○堀江佑輝(岩手大・院・農), 東淳樹(岩手大・農)
P65	印旛沼・甚兵衛広沼の鳥類の変遷	○桑原和之(千葉県立中央博物館), 箕輪義隆(千葉市野鳥の会), 小田島高之(千葉県立中央博物館), 今井優(立正大・地球環境), 和田信裕, 長沼和夫(千葉市野鳥の会)
P66	スズメは減っているのか? —茨城県つくば市における10年間の場合—	○山口恭弘(中央農研・鳥獣害)
P67	スズメの遺伝的交流における雌雄差と地域性	○泉洋江(北大・理学研究院), 長谷川理(エコネットワーク)
P68	Offspring Sex Ratio of the Black-billed Magpies (<i>Pica pica</i>) in Relation to Environmental Conditions	○Yunsook Lee, Sang-im Lee(精密機械設計共同研究所, ソウル大学), Piotr Jablonski(生命科学部, ソウル大学), Jae Chun Choe(エコー科学部, 梨花女子大学)
P69	西日本におけるサシバの繁殖地の環境特性	○板谷浩男, 伊藤休一(株式会社緑生研究所), 伊関文隆, 田中国彦(希少生物研究会), 東淳樹(岩手大学農学部)
P70	関東地方におけるユリカモメのカラーマーキング調査	○澤祐介(日本鳥類標識協会), 佐藤達夫(NPO法人行徳野鳥観察舎)
P71	都市におけるスズメの空間選好性	○橋本英奈, 加藤和弘(東大院・農・生態環境調査室)
P72	日本海で操業中の漁船上において記録されたミゾゴイ及びアマサギ	安原達郎(有限会社ネッツ), 安原俊介(広島県福山市在住), ○田中邦彰(有限会社ネッツ)
P73	ウトナイ湖サンクチュアリ30年の鳥類相の変遷	○大畑孝二, 原田修, 中村聡(公益財団法人日本野鳥の会サンクチュアリ室)
P74	渡り性水鳥類の生息分布と保護区域の現状	○三上かつら, 高木憲太郎, 神山和夫, 守屋年史, 植田睦之(バードリサーチ)
P75	タンチョウと人との関係史—近代日本におけるタンチョウの生息実態—	○久井貴世, 佐々木亨(北大院・文学), 赤坂猛(酪農学園大・環境)
P76	神戸市明石川におけるヒクイナの記録個体数の変動	○渡辺美郎, 平野敏明(バードリサーチ)

発表番号	タイトル	発表者
P77	キビタキの繁殖ステージとさえざり	○高木憲太郎(バードリサーチ), 宮澤絵里, 岡久雄二(立教大・院・理), 森本元(国立科博・動物/立教大・理/東邦大・東京湾生態セ)
P78	健全な行動は健康なヒナに宿る	○早矢仕有子(札幌大・法)
P79	鳥インフルエンザ監視報告	○原口優子, 竹内智子(出水市ツル博物館クレインパークいずみ)
P80	各色照明条件におけるヒヨドリの果実嗜好性の検討	○高津戸望, 青山真人, 杉田昭栄(宇都宮大・農・動物機能形態)
P81	ハイマツのない富士山でホシガラスは何を貯食しているのか?	○西教生(NPO法人自然環境アカデミー), 坂田(別宮)有紀子(都留文科大学)
P82	ウトウはどのくらい酸素を保有して潜っているか? ~行動パターンの異なる鳥類の酸素保有能力の比較~	○山本麻希(長岡技大生物), 加藤明子(CNRS), 新妻靖章(名大農), 綿貫豊(北大水産), 内藤靖彦(バイオロギング研究所)
P83	ハシブトガラスにおける住血原虫の感染状況およびその季節変動	○長谷山聡也, 高野莉香, 竹田努(宇都宮大・農・動物機能形態), 松岡裕之(自治医大・医動物), 佐藤雪太(日大・獣医・実験動物), 杉田昭栄(宇都宮大・農・動物機能形態)
P84	韓国内のオオコノハズクにおける住血原虫感染事例	○Munjeong Kim (Seoul National University College of Veterinary Medicine, Laboratory of Biochemistry and Conservation Genetics)
P85	カラスによる生活被害対策への盛岡市と岩手大学の取り組み	○東淳樹, 林幸多(岩手大・農), 荒哲平(岩手大・院・農), 盛岡市環境部環境企画課・資源循環推進課
P86	風力発電のバードストライク問題に関する一考察(2)	○堀内健司(JIST)
P87	名古屋市都市緑地におけるコゲラとキビタキの分布拡大パターン	○橋本啓史(名城大・農)
P88	アカヒゲ、アカコッコ、イジマムシクイ、3種ともいる島はどこ?—トカラ列島の鳥類相を読み解く—	○関伸一(森林総研・関西), 所崎聡, 溝口文男, 高木慎介(日本野鳥の会鹿児島), 仲村昇(山階鳥類研究所)
P89	赤外線センサーカメラによる高山帯の鳥類相・哺乳類相の把握	○堀田昌伸(長野県環境保全研), 高橋和也(応用地質(株)), 植松永至((株)環境アセスメントセンター), 江住和彦, 出口栄也(長野県環境部自然保護課)
P90	北海道におけるタンチョウの水銀汚染の原因についての検討	○岡本絵梨佳, 久道萌, 北澤多喜雄, 寺岡宏樹(酪農大・獣医), 水野直治(酪農大・短大), 古賀公也, 志村良治(釧路市動物園), 井上雅子, 百瀬邦和, 正富宏之(タンチョウ保護研究グループ), 中山翔太, 池中良徳, 石塚真由美(北大・獣医)
P91	白鳥信仰をもたらした人々とミトコンドリアDNA	○中島功, 北野利彦, 十蔵寺寛, 木ノ上高章, 桑平一郎(東海大学), 市田則孝(バードライフ・アジア)
P92	山階鳥類研究所の寄贈標本—老田敬吉・正夫, 藤本勉, 川合市郎鳥類標本コレクション—	○小林さやか, 山崎剛史, 鶴見みや古(山階鳥類研究所)
P93	多様な水鳥の糞からのアオコ原因藍藻類 <i>Microcystis aeruginosa</i> の検出	○天野一葉(京大・生態研), 須川恒(龍谷大・深草学舎), 片岡宣彦(椙鳥類環境), 吉岡美佐子(琵琶湖草津湖岸コハクチョウを愛する会), 茂田良光(財)山階鳥類研究所, 程木義邦, 大林夏湖, 中野伸一(京大・生態研)